

企業競争力・顧客満足力強化で、生き残りを目指す！

生産計画・工程管理力強化セミナー

新たな生産管理による“企業競争力”と“顧客満足力”の強化

日時 2025年7月8日(火)

10:00~17:00
(9:30 受付開始)

※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

講師 西澤 和夫 氏
西澤技術士事務所 所長

受講料 48,400円(資料含む、消費税込)
※日本金型工業会、中部プラスチックス連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。

受講効果

- 【1】2020年代以降の市場変動に伴う生産方式の変化・動向が掴めます。
- 【2】長期・中期・短期の日程計画の立案がわかり、市場ニーズに適した生産計画ができます。
- 【3】現場の作業標準書・QC工程表をもとに生産計画の精度を向上する手法が掴めます。
- 【4】進捗管理など複数の管理項目をもとに付加価値を生む工程管理へと変革できます。
- 【5】作業者・監督者それぞれの役割がわかり、円滑な工程管理につながられます。

プログラム

I. [生産と生産管理の基本]

1. 企業競争に生き残るためのモノづくりとは
 - (1) 生産現場の急激な変化と生産管理の新たな展開
 - (2) モノづくりに必要な要素とは
 - (3) モノづくりの生産の流れを円滑にするには
 - (4) モノづくりを確実にする仕組みとは
 - (5) 生産現場の基本要素は6Mだ
2. 市場の変動に対応する生産方式の変化
 - (1) 生産方式はどのように変化しているのか
3. 企業の生き残りがかかる生産管理とは
 - (1) 生産管理がなぜ必要なのか
 - (2) 生産管理の基本サイクルとは何か
 - (3) 生産管理の個別業務の流れとは何か
 - (4) 生産管理を支える他部門の管理手法とは何か

II. [生産計画の基本]

1. 市場ニーズに応えるための生産計画とは
 - (1) 生産計画とはどのようなものか
 - (2) 長期の大日程計画と中日程計画の違いは
 - (3) 短期の小日程計画で何ができるか
2. 顧客満足を実現する中日程計画の立て方とは
 - (1) 中日程計画とはどのようなものか
 - (2) 手順計画で工程と作業を計画する
 - (3) 工数計画で生産能力を「見える化」する
 - (4) 負荷計画で能力と負荷のバランスをとる
 - (5) 日程計画で納期を確保する
3. 生産計画の精度を高めるための手法とは
 - (1) 現在の生産現場に求められる作業標準書とは
 - (2) 作業標準書をうまくつくるポイント
 - (3) 標準時間を生産計画に活用するポイント
 - (4) 標準時間を設定する方法
 - (5) QC工程表をうまくつくるポイントとは

III. [工程管理の基本]

1. 付加価値を創造する工程管理の進め方とは
 - (1) 工程管理とは何をするのか
 - (2) 工程管理を確実にする作業手配とは
 - (3) 進捗管理によって工程遅れを挽回する
 - (4) 余力管理によって手持ちを防止する
 - (5) 現品管理によって仕掛在庫を防止する
 - (6) 事後管理によって生産実績を把握し改善要求する
2. 工程管理をうまくやる秘策を知る
 - (1) 工程管理をうまくやる秘策には何があるのか
 - (2) まず「本物の5S」で見える・分かる・できる生産現場をつくる
 - (3) 「見える化」で問題を先取りし改善力を強化する
 - (4) 作業標準書の定着で変化に強い生産ラインをつくる
 - (5) 作業者の育成によって生産計画達成の基盤をつくる
 - (6) 監督者の日常基本行動によって工程管理を実践する
 - (7) 「3礼」によって工程管理サイクルを確実に廻す
 - (8) 監督者の生産現場パトロールで先取り管理をする
 - (9) 報・連・相で作業者の責任を明確にする
 - (10) 多能化に取り組んで人の変化に強い生産現場をつくる
3. 問題解決力強化で生産目標を達成せよ
 - (1) 新たな生産現場問題の背景に何があるか
 - (2) 問題の本質をとらえる眼を持つ

IV. [現場改革の基本]

1. 競争力を強化する現場改革とは
 - (1) 生産現場の体質を改革するステップとは
 - (2) リードタイム短縮を実現するには

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をメールで送付いたします。
※必ずメールアドレスをご記入いただきますようお願い申し上げます。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせて頂く場合がございます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、別紙申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

No.257040

